

パークゴルフ

全日本選手権大会の

成功に意欲

紋別市パークゴルフ協会会長

藤江 治さん



第13回JALカップ全日本パークゴルフ選手権大会が9月8日と9日に紋別・滝上で開催されます。その受け入れ準備に奔走する紋別市パークゴルフ協会会長の藤江治さん(73)は「大会には全国から600人の選手が参加します。大歓迎し、楽しんでもらおうとにも、紋別の良さをアピールしたいですね」と成功に向けて意欲を高めています。

大会を主催するのは、パークゴルフ発祥地の幕別町に本部を置く国際パークゴルフ協会。当初は幕別町で大会を開いていましたが、近年では道内各地のコースを巡回しています。昨年は旭川市で行われ、今回は上渚滑交通公園内の「紋別パークゴルフ場」と、滝上町濁川の「ウッドパークゴルフ場」の2会場、計72ホールで熱戦が繰り広げられます。紋別市内の3協会からは男性8人、女性4人の計12人が参加し、上位入賞を目指します。

準備に当たって最も苦労したのは、8日夜の交流会やパ

ンフレット製作などのための協賛金集めだそう。「初めてのことで、雲をつかむような部分もありました。不景気にも関わらず多くの方にご協力いただき、感謝しています」。

交流会はスポーツセンターのアリーナを使い、参加選手と関係者総勢700人が集う盛大なものになります。「夜の街にどれだけの方が繰り出されるかは分かりませんが、宿泊やお土産販売などで大きな経済効果がありますよ」と、地元開催に付随するメリットにも期待しているようです。

藤江さんは市役所OB。現在は8年目を迎えた紋別市パークゴルフ協会会長のほか、ゲートボール協会や交通安全団体、地元老人クラブ、短歌の会などでも要職にあり、日々、市内外を飛び回っています。「市役所勤めのお返しはボランティアです。動くのは全く苦にならないんです」。齢を重ね、ますます活躍の場を広げている藤江さんです。